

おいしさと健康



第107期

報 告 書

[平成23年4月1日 ▶ 平成24年3月31日]



江崎グリコ株式会社



Glicoの理念 おいしいさと健康

おいしさの感動を、健康の歓びを、
生命の輝きを

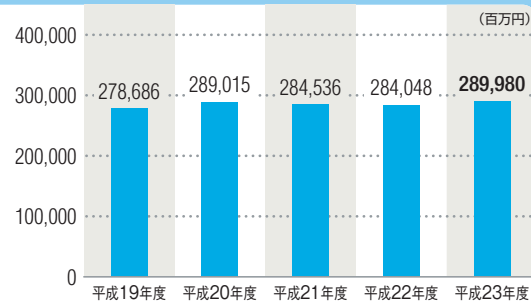
Glicoは、ハート・ヘルス・ライフのフィールドで
いきいきとした生活づくりに貢献します。

C O N T E N T S

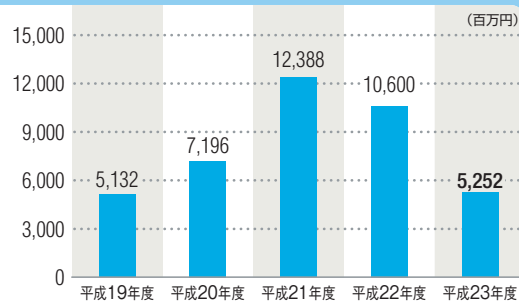
株主の皆様へ	2
セグメント別の概況(連結)	3
連結決算の状況	5
2013年3月期の重点取り組み	7
ニュース	9
グリコの歴史シリーズ	10
トピックス 新製品のご紹介	11
会社の概要	15
株式の状況	16
株主メモ	17
株券電子化後の各種お手続きについて	18

財務ハイライト | 連結

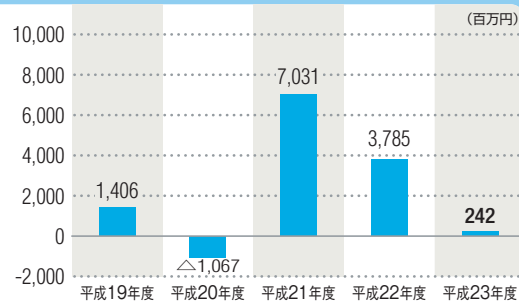
売上高



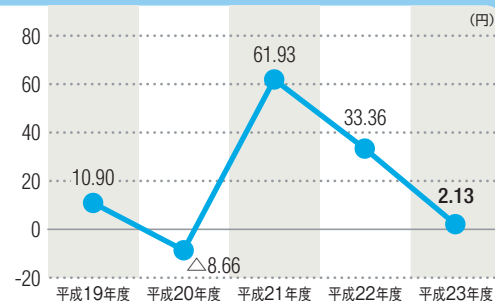
経常利益



当期純利益



1株当たり 当期純利益



株 主 の 皆 様 へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。当社の第107期報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災の影響から景気は緩やかに持ち直しつつあるものの、欧州政府債務危機や原油価格の上昇を背景とした海外景気の下振れやタイの洪水被害等の海外情勢と、国内での電力供給の制約、デフレの影響、雇用情勢の悪化懸念等から、引き続き不透明な状況で推移しました。食品業界におきましても、原材料価格の高騰や消費者の節約志向の浸透等により、依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは「グリコグループ行動規範」に基づき、信頼される企業であり続けることを事業展開の基本としながら、主力品の売上拡大や新製品・系列品の発売、市場を盛り上げる販売促進対策、店頭での特売対策等を積極的に展開いたしました。また、洪水被害を受けたタイの子会社に対して早期の復旧を図るべく尽力いたしました。

その結果、売上面では、東日本大震災による減産が影響した畜産加工品部門は前連結会計年度を下回りましたが、菓子部門、冷菓部門、食品部門、牛乳・乳製品部門が前連結会計年度を上回ったため、当連結会計年度の売上高は289,980百万円となり、前連結会計年度(284,048百万円)に比べ2.1%の増収となりました。

取締役社長

北崎 勝久



利益面につきましては、原材料価格のアップや販売品種構成の変化等により売上原価率はアップしました。販売費及び一般管理費では、広告宣伝費は減少しましたが、量販店店頭における積極的な販売対策の実施等により販売促進費が増加しました。その結果、営業利益は4,738百万円で、前連結会計年度(9,997百万円)に比べ5,259百万円の減益となり、経常利益は5,252百万円で、前連結会計年度(10,600百万円)に比べ5,347百万円の減益となりました。

また、当連結会計年度は、災害損失引当金戻入額等の特別利益及び投資有価証券評価損等の特別損失の計上に加え、一部の連結子会社の繰延税金資産の回収可能性を見直したことから、来年度以降の法人税率変更等により、繰延税金資産の取り崩しを実施いたしました。その結果、当期純利益は242百万円となり、前連結会計年度(3,785百万円)に比べ3,543百万円の減益となりました。

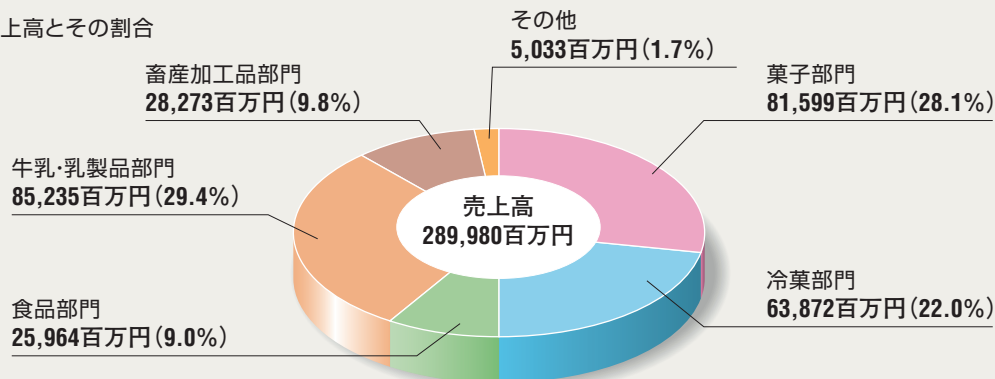
なお、配当金については、中間配当(1株につき5円)に加え、1株につき10円とさせていただきます。当社を取り巻く環境は益々厳しくなっておりますが、全社を挙げて業績の向上をはかり、株主の皆様のご期待におこたえする所存でございます。

今後とも、株主の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

セグメント別の概況 連結

セグメント別売上高とその割合



菓子部門

81,599百万円

前年同期比5.3%の増収



国内では、「ポッキーグループ」、「ビスコ」、「プリッツグループ」等が前連結会計年度を上回り、新発売の“アーモンドピーク”も順調に売上を伸ばしました。また、海外では、上海の子会社は前連結会計年度を上回りましたが、タイの子会社は洪水被害の影響により、前連結会計年度を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は81,599百万円となり、前連結会計年度(77,461百万円)に比べ5.3%の増収となりました。

冷凍部門

63,872百万円

前年同期比0.7%の増収



“パナッパ”、“ミニセレ”等は前連結会計年度を下回りましたが、主力品の“パピコ”や“バニラティエ”等が前連結会計年度を上回りました。また、東北の卸売販売子会社は東日本大震災の影響を受け、前連結会計年度を下回りましたが、関西の卸売販売子会社は前連結会計年度に対して増収となりました。その結果、当連結会計年度の売上高は63,872百万円となり、前連結会計年度(63,399百万円)に比べ0.7%の増収となりました。

食品部門

25,964百万円

前年同期比7.0%の増収



“2段熟ハヤシ”が順調に売上を伸ばし、「スナックスープ」や“カレー職人”等も前連結会計年度を上回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は25,964百万円となり、前連結会計年度(24,257百万円)に比べ7.0%の増収となりました。

牛乳・乳製品部門

85,235百万円

前年同期比2.6%の増収



“ドロリッチ”等の洋生菓子及び果汁飲料等は前連結会計年度を下回りましたが、“マイルドカフェオーレ”等は前連結会計年度を上回りました。また、キリンビバレッジ(株)からの業務受託による売上も上乗せとなりました。その結果、当連結会計年度の売上高は85,235百万円となり、前連結会計年度(83,073百万円)に比べ2.6%の増収となりました。

畜産加工品部門

28,273百万円

前年同期比9.0%の減収



澱粉等の食品原料が前連結会計年度を上回りましたが、主力のハム・ソーセージ等は、厳しい販売競争に加え、東日本大震災で被害を受けた那須の生産子会社での減産も影響し、前連結会計年度を下回りました。その結果、当連結会計年度の売上高は28,273百万円となり、前連結会計年度(31,071百万円)に比べ9.0%の減収となりました。

連結決算の状況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)		前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
[資産の部]			[負債の部]		
I 流動資産	81,104	93,502	I 流動負債	58,381	68,637
現金及び預金	15,288	16,598	支払手形及び買掛金	25,888	30,030
受取手形及び売掛金	28,822	34,230	短期借入金	6,053	9,050
有価証券	15,170	17,511	未払費用	18,136	20,601
商品及び製品	6,754	7,951	未払法人税等	1,373	965
仕掛品	631	771	販売促進引当金	1,225	1,537
原材料及び貯蔵品	8,997	10,701	役員賞与引当金	90	51
前渡金	196	200	事業構造改善引当金	714	376
前払費用	190	149	災害損失引当金	724	—
短期貸付金	177	161	その他	4,175	6,025
繰延税金資産	2,747	2,233	II 固定負債	27,045	31,300
その他	2,329	3,262	長期借入金	10,496	15,391
貸倒引当金	△201	△272	退職給付引当金	10,973	10,570
II 固定資産	112,950	113,790	事業構造改善引当金	620	620
(有形固定資産)	63,817	67,183	その他	4,955	4,718
建物及び構築物	19,414	24,557	負債合計	85,426	99,938
機械装置及び運搬具	23,316	22,353	[純資産の部]		
工具、器具及び備品	2,876	2,708	I 株主資本	108,824	107,473
土地	11,864	15,517	資本金	7,773	7,773
リース資産	409	328	資本剰余金	7,427	7,434
建設仮勘定	5,936	1,717	利益剰余金	120,346	118,886
(無形固定資産)	5,283	4,173	自己株式	△26,723	△26,620
ソフトウェア	4,863	3,742	II その他の包括利益累計額	△2,566	△2,409
その他	419	430	その他有価証券評価差額金	△463	△249
(投資その他の資産)	43,848	42,433	繰延ヘッジ損益	△346	△204
投資有価証券	31,278	32,473	為替換算調整勘定	△1,755	△1,955
長期貸付金	607	504	III 少数株主持分	2,370	2,291
長期前払費用	265	175	純資産合計	108,628	107,354
繰延税金資産	6,466	4,251	負債純資産合計	194,055	207,292
その他	5,374	5,157			
貸倒引当金	△144	△130			
資産合計	194,055	207,292			

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (22.4.1～23.3.31)	当連結会計年度 (23.4.1～24.3.31)
I 売上高	284,048	289,980
II 売上原価	160,146	166,664
売上総利益	123,902	123,315
III 販売費及び一般管理費	113,904	118,577
営業利益	9,997	4,738
IV 営業外収益	1,889	2,120
V 営業外費用	1,286	1,605
経常利益	10,600	5,252
VI 特別利益	22	645
VII 特別損失	4,658	1,220
税金等調整前当期純利益	5,964	4,677
法人税、住民税及び事業税	3,091	2,285
法人税等調整額	△1,196	1,995
少数株主損益調整前当期純利益	4,069	396
少数株主利益	283	154
当期純利益	3,785	242

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (22.4.1～23.3.31)	当連結会計年度 (23.4.1～24.3.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,853	10,236
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,647	△11,907
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,314	5,912
現金及び現金同等物に係る換算差額	△280	△230
現金及び現金同等物の増減額	1,610	4,010
現金及び現金同等物の期首残高	26,789	28,400
現金及び現金同等物の期末残高	28,400	32,410

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

(単位:百万円)

	株 主 資 本					その 他 の 包 括 利 益 累 計 額	少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 剩 余 金	利 剩 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計			
平成23年4月1日期首残高	7,773	7,427	120,346	△26,723	108,824	△2,566	2,370	108,628
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△1,702		△1,702			△1,702
当期純利益			242		242			242
自己株式の取得				△16	△16			△16
自己株式の処分		7		118	125			125
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						156	△79	76
連結会計年度中の変動額合計	—	7	△1,459	102	△1,350	156	△79	△1,274
平成24年3月31日期末残高	7,773	7,434	118,886	△26,620	107,473	△2,409	2,291	107,354

2013年3月期の
重点取り組み

“変革”をテーマに「第二の創業元年」をスタート

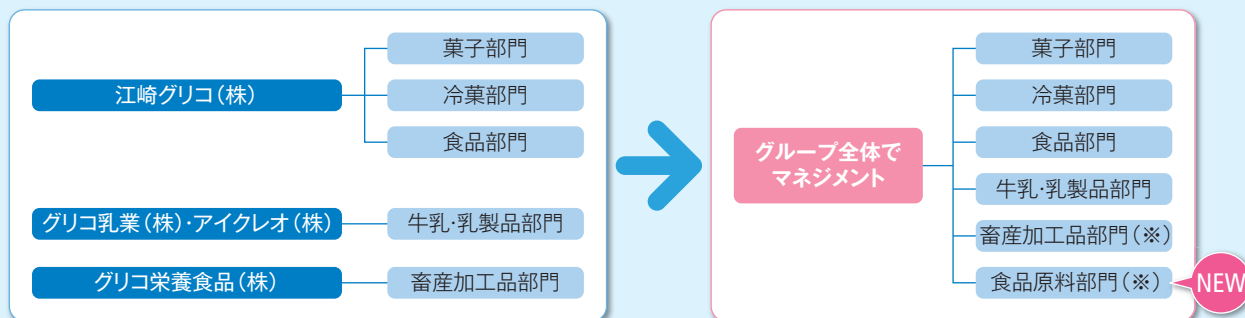
創業90周年を迎えた今期を「第二の創業元年」と位置づけ、

“変革”をテーマにグループの総力を結集し、売上、利益の拡大を目指します。

重点課題 1 グリコグループの一体的な経営の推進

■セグメント別の マネジメント体制の強化

これまでは会社ごとにマネジメントを行っていましたが、今後はセグメントを単位として、グループ全体でマネジメントを強化。経営資源を最適配分し、セグメントごとの経営効率を高めます。



※2012年4月2日にグリコ栄養食品(株)をグリコハム(株)とグリコ栄養食品(株)に会社分割し、セグメントを畜産加工品と食品原料に分けております。

■グローバルブランドの育成

当社の主力品である“ポッキー”“プリッツ”を世界のメジャーブランドに育成するため、まずは日本にグローバルブランドグループを設置。国や組織を横断したブランドの管理や育成を行い、中長期的な視点で世界戦略を推進します。



■グループ横断的な組織の構築

これまでも経理部門や情報システム部門などを統合して連携を図ってきましたが、今期はすべての間接部門で連携強化に取り組み、会社間の人材交流も促進します。



重点課題 2 海外事業の拡大

タイ 主力品販売の立て直し



コロソ

アルフィー

昨年10月にタイで発生した水害からの復興を図り、主力品の生産再開と販売の立て直しに全力で取り組みます。

- ポッキーの生産・販売を開始
- プリッツ、コロソ、アルフィーなどの主力品を順次立ち上げ
- ポッキーを中心にテレビCMを投入

中国 販売地域拡大の継続



チャオ

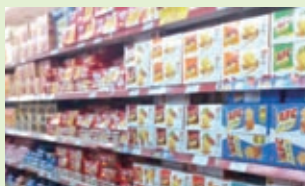
プジョイ

ショートブレッド

成長を続ける中国市場において、開拓余地のある地域を重点エリアとして設定し、販売力を強化するとともに、主力品を中心に製品力を高めます。

- ポッキー、プリッツ、プジョイなど主力スティック製品の強化
- 子ども向け製品群の拡大
- 巧(チャオ)、小布蕾(ショートブレッド)など高級クッキー市場の拡大と定着

ベトナム 販売を強化



ホーチミン市内のスーパー



小規模な小売店

ベトナムのトップ菓子メーカーであるキンド社との資本・業務提携のもと、2012年度末頃より販売を開始。キンド社の強固な販売網を活かしてグリコ製品を販売し、ベトナム国内におけるグリコブランドの早期確立を目指します。

創立90周年を迎えました

平成24年2月11日、江崎グリコは90回目の創立記念日を迎えました。グリコグループでは、当社の最初の製品である「グリコ」が、当時の大阪三越百貨店の店頭に並んだ日（大正11年2月11日）を記念して創立記念日としています。

創業者である江崎利一は、佐賀県の有明海付近で行商をしていた際に、かきの煮汁にグリコーゲンが大量に含まれていることを知りました。「このグリコーゲンを利用して、世の中の役に立つ事業をしたい」との思いから、「グリコ」を開発したのが江崎グリコの始まりです。

グリコグループは今年を第二の創業年と位置づけ、「ひとつのグリコ」「強いグリコ」「世界のグリコ」をキーワードに、世界中のお客様に笑顔をお届けすることを目指してまいります。

新工場が本格稼動しました

菓子の新工場「北本ファクトリー」が平成24年4月1日から本格稼動しました。最新鋭の設備を擁した同工場では、主力ブランドのポッキーやブリッツを製造しています。多様化するお客様のニーズに合わせ、今後は多品種少量生産に対応していくほか、さらなる生産や物流の効率化により、競争力の強化を図ります。また、同工場は環境にも配慮しており、同規模の自社工場との比較でCO₂排出量25%削減を見込んでいます。

秋には見学施設
「グリコピア・イースト」
もオープン予定です



復興支援に感謝状をいただきました

東日本大震災発生後に、グリコグループでは被災地へ菓子やレトルト食品、ソーセージなど19万個の支援物資を提供しましたが、その支援に対して農林水産大臣 鹿野道彦氏から感謝状をいただきました。

また、2月24日には宮城県大阪事務所の高橋伸夫所長が来社され、震災の復興支援としてグリコグループが寄付した義援金やグリコ

ワゴンの活動に対して、感謝状をいただきました。

高橋所長からは「義援金をいただきありがとうございます。被災地を訪ねてくれたグリコワゴンには大変感謝しています。多くの子どもがグリコワゴンで勇気づけられました」とお言葉をいただきました。



宮城県からの感謝状

愛されて80年、「ビスコ」今昔物語

「おいしさと健康」を理念に掲げる江崎グリコを象徴する商品として、企業とともに進化してきました。

発売当時(1930年代) 「グリコ」に続く栄養菓子の誕生

「胃腸の機能を高め、消化吸収を活発にする」という酵母の効果に着目した創業者 江崎利一は、研究の末、当時としては画期的な「酵母入りビスケット」を開発。創業のきっかけとなった栄養菓子「グリコ」に続く商品として1933年(昭和8年)に発売しました。

翌年に室戸台風が西日本を襲った際には、お見舞いの気持ちを込めて「ビスコ」を被災地で格安で販売。この活動が被災者の方々に感謝され、「ビスコ」の名は一躍多くの方々に広まりました。



発売当時のビスコ。
「酵母入りビスケット」を略した「コービス」を逆にして「ビスコ」と名付けました。

こぼれ話

ビスコ坊やの変遷

「ビスコ」と一緒に誕生したおいしさのメッセンジャー「ビスコ坊や」も、時代とともに世代交代を繰り返してきました。2005年に登場した5代目ビスコ坊やはクリッとした大きな目にすっきりしたあご、現代風の髪型が特徴です。



初代「坊や」
昭和8年～



2代目「坊や」
昭和26年～



3代目「坊や」
昭和31年～



4代目「坊や」
昭和57年～



5代目「坊や」
平成17年～

現在(2000年代) 進化する「ビスコ」

お客様に愛され続ける商品であるために、2005年(平成17年)には23年ぶりに「ビスコ」をリニューアル。「おいしさと健康」の理念のもと、現在もシリーズ商品の発売や改良を重ねています。

●ビスコ<小麦胚芽入り> (2002年発売)

若い女性にも「ビスコ」を食べていただくように、小麦胚芽入りのクラッカーを使用。「おいしさ」と「栄養」を強化しました。



●ビスコ保存缶(2007年発売)

相次ぐ異常気象や地震による防災意識の高まりを受け、長期保存が可能で、手軽に栄養補給ができる商品として注目を集めています。



菓子

菓子部門

思わず手がのびる、 カリカリの食感!

[ポテトプリッツ]

〈うすしお味〉

ポテトをたっぷり使用し、カリカリの新食感に焼き上げました。
プリッツならではの香ばしさと、噛むほどに出てくるポテトの
うまみが楽しめる、スナックタイプのポテトのプリッツです。
あっさりとした塩味なので、飽きずに次々食べられます。



速攻で、息ステキ!

スタイリッシュな女性の口中ケアガム

[ウォータリングキスミント]

〈マスカット〉〈ピーチソルベ〉

〈ホワイトサワーミント〉〈スターダストミント〉

お口がうるおうウォータリング成分に加え、カテキンと、後口が
すっきりする遅効性ミント顆粒を新配合しました。食事の後の
お口をすばやくさっぱりさせ、口直しに最適です。



すっきりバニラ& パリパリホワイトチョコの 「白いパリッテ」が新登場!

【パリッテ】 〈バニラ&ホワイトチョコ〉

クリアなテイストのバニラとホワイトチョコを組み合わせ、濃厚感の中にすっきりとした後口に仕上げました。アイスの中には約30層におよぶホワイトチョコの層があり、心地良い食感を演出します。最後までアイスとパリパリチョコの層が楽しめます。



いつでもどこでも楽しめる ひとくちフルーツジェラート

【アイスの実】 〈期間限定 ビタミンC入り〉

果汁50%で濃厚な味わいのアイスの実を、ビタミンC入りで夏にぴったりの爽やかなおいしさに仕上げました。片手で食べられるプチオープンと、選んで食べられるワイドオープンの2WAY OPEN容器なので、いつでもどこでも楽しめます。



食品

食品部門

2段ルウが、 コクと香りを深くする

【2段熟】

〈2段熟カレー(甘口)〉〈2段熟カレー(中辛)〉
〈2段熟カレー(辛口)〉〈2段熟ハヤシ〉

じっくり時間をかけて煮込んだ「コクのルウ」と、香りを活かすために短時間煮込んだ「香りのルウ」を最後に重ね、どちらのおいしさも引き出しました。らくわけトレー入りなので、必要な皿数に応じて使え、保存にも便利です。



牛乳・乳製品

グリコ乳業株式会社

新しいプッチンプリンは、 とろける食感

【Special プッチンプリン】

発売40周年を迎えた「プッチンプリン」シリーズの新商品です。生乳・練乳・生クリームを使用した濃厚でなめらかな味のプリンに、コクと苦味のある本格的なカラメルを加えました。口の中でとろける食感が味わえる、新しいプッチンプリンをぜひお試しください。



畜産加工品等

グリコハム株式会社

新しいおいしさは 「コク」が決め手!

【コク党あらびきウインナー】 〈180g〉〈100g 2パック〉

肉のうまさを楽しめる、豚肉と牛肉のダブルブレンド製法で仕上げた、コク深い味わいが特長です。

噛むたびに肉汁が口の中でジュワツと溢れ、今までにない濃厚な味わいが楽しめるあらびきウインナーです。



栄養ドリンク

アイクレオ株式会社

毎日おいしく鉄分補給

【毎日ビテツ】 〈フルーツミックス〉〈ブルーベリー〉 〈グレープフルーツ〉〈りんご〉

日本人女性に不足しがちな鉄・亜鉛を中心に、6種類の栄養素を手軽に補給できる「毎日ビテツ」に新味フルーツミックスが新登場。バナナ、りんご、パインアップルのバランスの良い果汁感とやさしい甘さが特長です。毎日飲み続けられるよう、鉄特有の風味を抑えました。



会社の概要

商 号 江崎グリコ株式会社
創立年月日 大正11年2月11日
資 本 金 7,773,681,654円
営 業 品 目 菓子・食料品の製造および売買。飲食店の経営。
従 業 員 数 4,992名
本社所在地 〒555-8502 大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号

主な事業所

- 本社

〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話 (06) 6477-8352
- 北海道・東北統括支店

〒981-0912
仙台市青葉区堤町一丁目1番2号
電話 (022) 717-2821
- 関東統括支店

〒370-0828
群馬県高崎市宮元町38番10号
電話 (027) 330-1914
- 首都圏統括支店

〒108-0023
東京都港区芝浦四丁目16番23号
電話 (03) 3798-0717
- 中部統括支店

〒461-0022
名古屋市東区東大曽根町22番28号
電話 (052) 919-0714
- 近畿統括支店

〒555-8502
大阪市西淀川区歌島四丁目6番5号
電話 (06) 6477-8470
- 中国統括支店

〒732-0816
広島市南区比治山本町16番35号
電話 (082) 250-4111
- 九州統括支店

〒812-0013
福岡市博多区博多駅東三丁目13番28号
電話 (092) 474-0331

主な関係会社

北海道グリコ株式会社
仙台グリコ株式会社
茨城グリコ株式会社
グリコ千葉アイスクリーム株式会社
関東グリコ株式会社
東京グリコ株式会社
三重グリコ株式会社
関西グリコ株式会社
神戸グリコ株式会社
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社
鳥取グリコ株式会社
九州グリコ株式会社
江栄情報システム株式会社
株式会社グリコ物流サービス
東北フローズン株式会社
関西フローズン株式会社
THAI GLICO CO., LTD.
EZAKI GLICO USA CORP.
上海江崎格力高食品有限公司
上海江崎格力高南奉食品有限公司
グリコ乳業株式会社
グリコ栄養食品株式会社
アイクレオ株式会社

(注) グリコ栄養食品株式会社は、食品原料事業部を平成24年4月2日付で会社分割（新設分割）し、それに伴い会社名をグリコハム株式会社に変更いたしました。

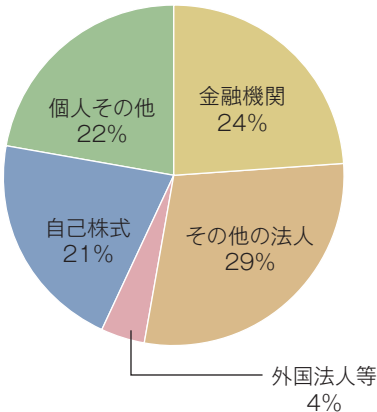
役員

代表取締役社長	江崎 勝久	取締役	益田 哲生	監査役(常勤)	芝池 正明
取締役	中川 宗和	取締役	加藤 隆俊	監査役	玉井 英二
取締役	江崎 悦朗	取締役	梅崎 信彦	監査役	倉持 治夫
取締役	安積 正裕			監査役	岩井 伸太郎
取締役	栗木 隆				

株式の状況

会社が発行する株式の総数 470,000,000株
発行済株式総数 144,860,138株
株主数 14,520名

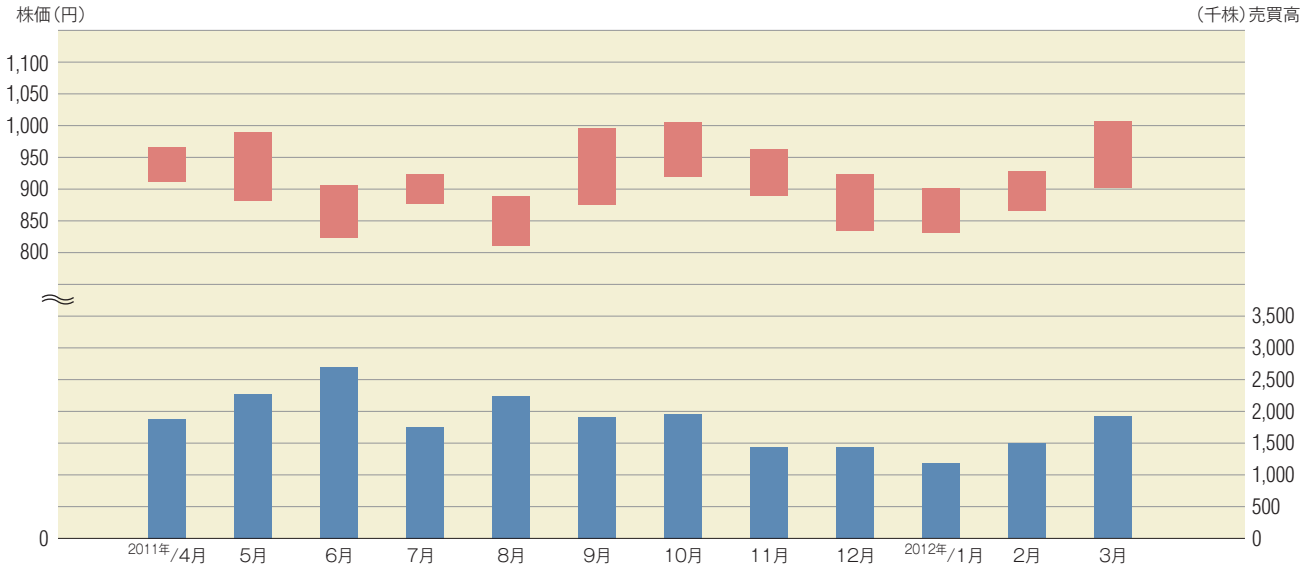
所有者別株式数比率



大株主

氏名又は名称	持株数(千株)
掬泉商事株式会社	8,263
江崎正道	7,040
大同生命保険株式会社	7,000
日清食品ホールディングス株式会社	7,000
佐賀県農業協同組合	5,887
大日本印刷株式会社	3,197
江崎グリコ共栄会	2,548
日本生命保険相互会社	2,342
三井住友海上火災保険株式会社	2,111
大正製薬ホールディングス株式会社	2,020

株価および株式売買高の推移





江崎グリコ株式会社

<http://www.glico.co.jp>